

みなさんの善意 次の皆さんから浄財などの寄付がありました。(敬称略)

社会福祉に…

●杉浦廣光 ●裏千家亀谷宗良えんの会

外国人の子どもの就学支援基金

●小島祥美 ●田牧恵子 ●親和開発株

男女共同参画事業推進に…

●国際ソロプチミスト可児

ありがとうございました

「みんなの写真館」



ひな 佐藤陽菜ちゃん
(3カ月・土田)

「産まれて1カ月記念日に撮ったよ」



ももか 岩崎百加ちゃん
(3歳・若葉台)

「大好きなおじいちゃん」と



りこ 奥村莉子ちゃん
(5カ月・広見)

「スマイル全開だよ」

皆さんからの投稿写真を募集します!

- 応募資格 市内在住の人
- 応募方法 地域の行事や市内の風景、お子さんの写真などを撮影した写真にコメントを一言添えて、住所氏名電話番号(お子さんの写真の場合はお子さんの氏名生年月日も)撮影日・撮影場所を明記し、郵送電子メール、または直接応募してください。
- 掲載できないもの 市外の風景や、ペットの写真、営利目的や政治団体・宗教的な写真など。

宛先 ★郵送は 〒509-0292 広見一丁目1番地 広報かに「みんなの写真館」係
★電子メールは kouhou@city.kani.lg.jp (250キロバイト~1.5メガバイト程度で撮影)

きらめき 可児の人



笑顔で優勝メダルを掲げる隆一郎くん

かけがえのない仲間と野球が大好き!

高井 隆一郎くん(瀬田・14歳) 中部中

野球を始めたのは、小学2年生。中学生になって「春日井ボーイズ」に入りました。2年間キャプテンを務め、3年生になった今も副キャプテンとしてチームを盛りたてます。

春日井ボーイズは、3月に大阪で開催された「第39回日本少年野球春季大会」(中学生の部)で優勝しました。ひじのけがに泣かされたことも。そんな苦境も「けがをしたことで、体を使って大切に投げられるようになりました」とプラスに変えていく強さがあります。

一番印象に残っていることは、2年生のときに出場した「春日井市長杯」。メンバーの力量を均等に分けて作られたA、Bの2チームで優勝、準優勝を勝ち取りました。隆一郎くんは、この大会の準決勝で、見事サヨナラ打を放ち、チームを勝利へと導きました。「打ったのは僕ですが、望に仲間がいたから、勝てました」と笑顔で話します。チームの雰囲気がとても良いことも春日井ボーイズの自慢です。

現在は、夏の全国大会に向けて、日々練習に励んでいます。



▲上毛かるた(財団法人群馬文化協会)



▶館林市のかるた大会



ふるさとから離れてはや5年、一人前になつたら、いつか鶴のように大きく羽を広げて、ふるさとの家族へ恩返しに行きたいものです。

私ふるさととは群馬県館林市です。ツツジやこのほりの名所で、館林うどんや麦湯雁などの名物もありますが、私がご紹介したいのは「かるた」です。群馬県には、県の名所を掲載している上毛かるたをはじめ、その土地のかるたが存在します。館林市にも館林かるたがあり、上毛かるたとともに小学校時代は町内対抗のかるた大会が毎年催され、熱く興じたものです。

史を楽しく学ぶのに、かるたはまさに打って付けです。今ではほとんど読み札の内容も記憶の片隅に追いやられてしまいましたが、郷土への愛情は私の心につまでも残っています。最後に、上毛かるたから、有名な一枚をご紹介します。「鶴舞う形の群馬県」よかったら日本地図で群馬県を探してみてください。

かるたに込められた郷土への思い

●記 田部井 由博さん(下恵土)



いきいき ② マイ・グループ

開演前の緊張感が漂う中、「お待たせいたしました。只今より宙のホールを開場いたします」口上の声が響く。「いらっしゃいませ」「お待たせいたしました」と笑顔でチケットをもぎるスタッフ。アーラの劇場へお越しいただいた方なら、ご存じの光景ではないでしょうか。そのスタッフは、alaクルーズのメンバーです。

alaクルーズは、平成13年に自主運営組織の市民ボランティア団体として発足し、16年にはNPO法人となり、現在会員数60人。コンサートの企画実施、ギャラリー展示、アーラの冬のイルミネーションなど、その活動もさまざまです。私たちのようなボランティア活動団体は、全国の文化施設では類のないものと評されています。

ぜひ、一緒に楽しく活動してみませんか。

アーラへようこそ! NPO法人 ala (アーラ) クルーズ



さわやかな笑顔で皆さんをおもてなしします